

バイトボード[1][2]というデータ構造を用いて書き直したことが最大の特徴です。7月くらいまでは評価関数の機械学習方法を改善する方向で実験を行っていたのですが、全く強くないので方向性を変えました。また今回は評価関数を1から作っており、現時点ではとても弱いので頑張らないといけません。

参考文献

[1] <http://www2.computer-shogi.org/wcsc26/appeal/takotto/appeal.html>

[2] <http://denou.jp/tournament2016/img/PR/takotto.pdf>